



実り豊かな生活文化都市

# 中央市 議会だより

Vol. 79

11月  
2025



## 20周年おめでとう!



## 笑顔と元気でチアダンス!

Photo : NPO 法人 CSC・ルーデンス (TEAM BEANS)

**特集 中央市議会**

**歴代議長座談会** P2

- P 4 令和6年度決算概要
- P 8 9月定例会で決まったこと
- P11 審議結果
- P12 市長の行政報告
- P13 一般質問に5議員
- P16 委員会レポート
- P19 閉会中の勉強会
- P20 市民の談話室・編集後記

# 中央市議会 歴代議長座談会



まもなく20年を迎えようとしている中央市議会の記念特集第2弾として、今号ではこれまで中央市議会議長を務められてきた3名の元議員に、創刊号からこれまでの中央市議会だよりをご覧いただきながら、当時の様子や今後の中央市に期待することなど、お話を伺いました。

(敬称略)

## 当時の市議会の様子や 印象に残っていることは

**田中**…私が議長るとき、与一公まつりの会場で、東日本大震災で東北から来られて参加されていた方々に「ぜひ中央市へ移住してください」と伝えていたことです。特に子どもの将来につながる思い出のために、ここ中央市で育っていく子どもを守るための活動を行っています。またなにか盆踊りのような催しを地区で復活させたいなと思っています。



田中健夫氏(第4代議長)

**名執**…中央市への合併に対する議会の取り組みとして、市民の方からの要望や意見などを数多くいただき、未来のために思っていることを今ここで全部吐き出そうと、議員や住民の方々と協議があったことがいちばんの思い出です。

また、3期目で議長となり、山梨県市議会議長会会長を務め、他市議会との交流が多くありました。他市議会から卓球の平野美宇選手の話があると、やっぱり中央市出身として誇れるものがあるのは嬉しいことだなと感じました。



名執義高氏(第6代議長)

**伊藤**…2年間議長をさせてもらいましたが、ひとつあげるとすれば、議長選のときに選挙になったことですね。議会としては特別採めるようなこともなく、平穩に満了して良かったなという印象です。



伊藤公夫氏(第5代議長)



## 今の中央市をどういうまちだと思えますか？

**金丸**：以前に市内の自治会長を対象にした、市民と議会の対話集会を開催してお話を伺った、「自治会に入らない」「役を受けてくれない」「消防団にも入らない」「だんだん人間関係が希薄になってしまつ」と、皆さん同じ意見をされていました。

**田中**：私の年齢によるものなのかもしれませんが、人情が薄くなつたかもしれません。もつと地域と一緒になつてなにか楽しい思い出が増えるまちになつてほしいです。

**編集委員**：住民が中心になることと、特にコミュニケーションは大事なことで、それらは防災にも関連しますし、よりよいまちづくりにも影響していきます。

**伊藤**：以前の中楯地区では、30軒弱だったのに対して、今は約140軒にまで増えていますからね。

**名執**：それでも20年が経ち、みんな歳をとつてまちも古くなつていきます。人口が近年横ばいとはいえ、行政ばかりに頼るのではなく、自分たちの地域で高齢者のための仕組みを重要視していきたいです。



## 中央市の未来に望むことは

**金丸**：中央市は「まちづくりアクションプラン」を策定し、様々な想定のもとにまちづくりを進めています。これからは企業を増やすべきか、住宅なのか、あるいは商業地か、もちろん、子育て・医療福祉等も含めてどのように考えますか。

**名執**：医療や福祉を考えると、市内に大きな病院があるのは大きいですね。行政はどうしても公平公正に見ていることが重要ですが、開発するにしても何にしても、関わるときはしっかりと見入つて、お年寄りにやさしいまちや、若者が元気になるまちとの両立をしていけるよう、議員は自分と思う「次はこれだ」と堂々と言つてよいと思います。

**田中**：私は免許を返納して4年が経ちますが、自転車生活をしていると、車の怖さを感じています。福祉面も併せて、シニアカーが安全に通れるような道路整備を進めてほしいなと思っています。



金丸俊明氏（現議長）

## 今後の中央市議会に期待することは

**名執**：いろいろな人とコミュニケーションするって難しいですよね。それが議員同士だとなおのことだと思えますが、議員はみな同じ思いで固まらないと行政とも対応できないので、まずはもつと理解を深めて、市民とよく話をして、議会で議論してほしいです。多くの方々の意見をまとめることは難しいですから、コミュニケーションは議員としてとても大事だと思います。その取り組みはこれからも続けていただき、さらに10年、20年の市にしていただければと思っています。

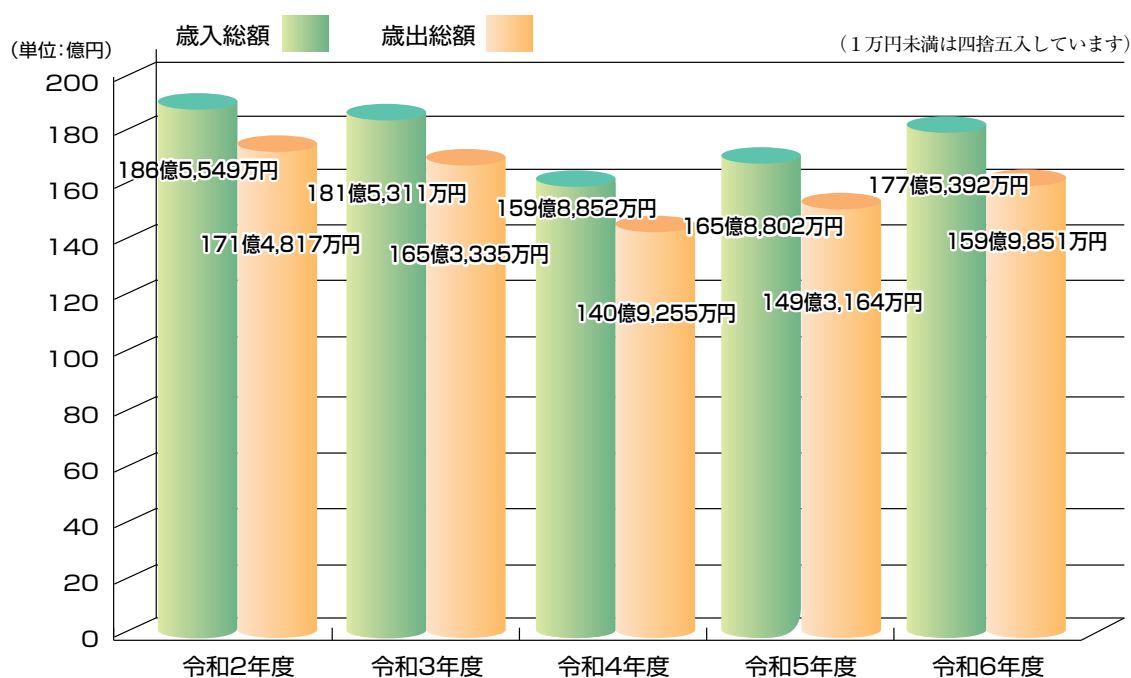


## 令和6年度 一般会計

# 歳出 159億9,851万円 を認定

9月定例会が、9月3日から25日までの23日間の会期で開催され、市長提案の令和6年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出決算認定10件、条例案件3件、補正予算8件、その他の案件4件、また、請願1件、意見書1件を審議しました。

## 過去5年間の決算額の推移



一般会計の決算額は、歳入総額177億5,392万円、歳出総額159億9,851万円  
で歳入歳出差引額17億5,542万円となりました。

財政状況を表す経常収支比率(※1)は91.9%と昨年度よりも0.5%増加し、2か年度連続して90%を超過しました。また、財政力指数(※2)は0.67となりました。

## 用語解説

## ※1 経常収支比率

政策的にある程度自由に使える金額と、人件費や社会保障費、借金の返済など使い道が決まっていて縮減が難しい金額との比率を指します。この数値が高いと新規事業や臨時の費用が必要ときに資金を充てることが難しくなってしまいます。

## ※2 財政力指数

財政力の強弱を示す指数で、経常収支比率とは反対に、数値が高いほど(1.00に近い、あるいは1.00を超えるほど)財政に余裕があるとされています。

## 令和6年度一般会計・特別会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています)

会 計		歳 入	歳 出	差引額
一 般 会 計		177億5,392万円	159億9,851万円	17億5,542万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	29億7,196万円	29億2,655万円	4,540万円
	後 期 高 齢 者 医 療	4億9,739万円	4億9,699万円	39万円
	介 護 保 険	23億5,658万円	23億243万円	5,415万円
	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	1,176万円	1,176万円	0円
	田富よし原処理センター事業	1億6,029万円	1億4,946万円	1,082万円

(1万円未満を四捨五入しているため、差引額が一致しない場合があります。)

## 令和6年度各企業会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています)

	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収 入		収 入	
簡易水道事業会計	2億1,661万円		3,000万円	
	支 出	1億7,410万円	支 出	1億3,198万円
公共下水道事業会計	8億452万円		7億2,200万円	
	支 出	7億7,716万円	支 出	8億6,084万円
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	2億6,695万円		1億1,962万円	
	支 出	2億5,713万円	支 出	1億3,325万円
上 水 道 事 業 会 計	2億7,977万円		7,703万円	
	支 出	2億4,222万円	支 出	2億7,626万円

## 用語解説

### 収益的収入及び支出

一事業年度における営業活動により発生する収入とそれに対応する支出

- ＜収入＞ 料金収入、受取利息など  
 ＜支出＞ 人件費、物件費、固定資産の減価償却費など

### 資本的収入及び支出

施設の整備やこれからの建設改良に係る支出とその財源となる収入

- ＜収入＞ 企業債、国庫補助金など  
 ＜支出＞ 建設改良費、企業債元金償還金など

## 中央市の借金と貯金の状況は？

※一般会計・各種特別会計・企業会計を含む

借金(市債の令和6年度末現在高) 263億5,582万円

市民1人あたり…約87万円

貯金(基金の令和6年度末現在高) 87億4,027万円

市民1人あたり…約29万円

## 財政健全化判断比率および資金不足比率

都道府県や市区町村には「実質赤字」「連結実質赤字」「実質公債費」「将来負担」の4つの指標と公営企業会計ごとの「資金不足」の比率を毎年度公表することが義務づけられています。一定の基準を超えると、財政健全化計画を策定して県や国への報告、また、総務大臣の許可を得なければ地方債が発行できなくなります。

中央市の令和6年度の数値は以下のとおり全て基準を下回っており、財政状況は昨年度に引き続き、健全性が維持されています。

### 令和6年度 財政健全化判断比率

(単位:%)

健全化判断比率	令和6年度	令和5年度	早期健全化基準
① 実 質 赤 字 比 率	— (▲16.90)	— (▲16.52)	R5年度 13.59 R6年度 13.54
② 連 結 実 質 赤 字 比 率	— (▲26.72)	— (▲25.24)	R5年度 18.59 R6年度 18.54
③ 実 質 公 債 費 比 率	7.2	7.1	25.0
④ 将 来 負 担 比 率	—	—	350.0

※ —は黒字を表し、( )内は参考数値です。また、将来負担比率の—は将来負担額に充当可能な財源額が将来負担額を上回っていることを示します。

## 用語解説

○実 質 赤 字 比 率 … 一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

○連結実質赤字比率 … 全会計を対象とした実質赤字額または資金の不足額の標準財政規模に対する比率

○実質公債費比率 … 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、3か年度の平均

○将 来 負 担 比 率 … 損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

○標 準 財 政 規 模 … 標準的な状態で、通常収入されると見込まれる経常的な一般財源の規模を示すもの ※令和6年度中央市は89億1,892万円

### 令和6年度 資金不足比率

(単位:%)

事業会計	令和6年度	令和5年度	経営健全化基準
上 水 道 事 業 会 計	— (▲135.9)	— (▲143.4)	20.0
簡 易 水 道 事 業 会 計	— (▲97.2)	— (▲99.6)	20.0
公 共 下 水 道 事 業 会 計	— (▲65.1)	— (▲1.8)	20.0
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	— (▲326.8)	— (▲244.7)	20.0

※ —は黒字を表し、( )内は参考数値です。

### 資金不足比率とは

地方公共団体の各公営企業会計の資金の不足額の度合いを表す指標。公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較することで、経営状態の悪化の度合いを示す指標。



# 監査委員の決算審査意見書

要 旨

監査委員

井 中 佐  
口 楯 藤  
英 徳 院  
貢 徳 院

## 〈審査の期間〉

令和7年7月2日(水)～23日(水)

## 一般会計・特別会計

## 〈審査の結果〉

各会計の決算書および資料は関係法令に準拠して作成され正確で、予算の執行状況も適正である。

また、基金の運用状況も妥当である。

## 〈決算の要旨〉

歳入面では、一般会計は合計で前年度に比べ増加していた。地方税では定額減税による個人住民税の減少があるも、民間物流施設の倉庫新設などによる法人税や固定資産税の増加等により、前年度を上回る税収となった。また、国庫補助金では、公共施設改修事業等に伴う交付金の増額により、大幅増となった。一方、分担金・負担金及び使用料・手数料では、子育て世帯への支援を目的に、令和6年度より0～2歳児の保育料を無償としたことにより、減少となった。

歳出面では、合計で前年度に比

べ増加していた。人件費は、人事院勧告による給与改定のほか、令和6年度より会計年度任用職員に対する勤勉手当を支給したことなどにより増加した。扶助費は、物価高騰対応重点支援給付金給付事業などの臨時事業のほか、障害者自立支援給付費事業、生活保護費扶助事業などの経常事業も増加していた。普通建設事業費は、学校長寿命化等改修事業(田富小学校)や児童館施設整備事業(杉の子児童館)の増加があったものの、都市公園建設事業やリニア建設による田富北小学校移転整備事業の完了に伴い、全体的には減少となっていた。

なお、特別会計は5会計の合計で、歳入総額が59億9,797万円、歳出総額58億8,720万円で、歳入歳出差引残高の形式収支は1億1,077万円で実質収支も同額となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1億3,137万円と少ない状況となった。

## 〈監査委員の意見〉

厳しい社会情勢の影響が予想さ

れるなか、中央市においては、地方税総額は前年度実績を上回る結果となった。しかし、経済の動向による税収が不安定であることから、中長期的には企業誘致、移住定住、農業振興などの促進及び市民税等の徴収率の向上による安定した財源の確保が重要である。

歳出面では、平成から継続実施してきた主要大型事業が令和5年度をもつて概ね完了したが、令和6年度からは田富小学校校長寿命化等推進事業、田富第二・田富第三保育園統廃合事業、防災無線改修事業等の新規事業が開始され、今後も公営住宅及び学校施設の改修等も予定され、財源の確保と費用の削減が重要な課題と考えられる。

このような状況を踏まえ、今後の行政運営において、人件費や扶助費等の義務的経費並びに物件費が社会情勢を背景として増加傾向にあることから、事務事業の仕組みの見直しや効率化、費用の削減等徹底した取り組みにより、今後の合理的な事業運営を図るよう提言する。

## 公営企業会計

## 〈審査の結果〉

公営企業会計4会計について、決算諸表は、いずれも関係法令の規定に適合し正確であり、内容も正当である。また、会計諸帳票、証拠書類等の事務管理についても、公正かつ適切に処理され、正確なものである。

## 〈監査委員の意見〉

公営企業会計4会計について、中央市長期総合計画を基本方針に、現在及び将来にわたり市民生活や活動に欠かすことのできない安心安全で清浄な水の供給と安定した汚水処理を遂行するために、施設の整備・拡充を図り、サービス向上等に努めている。なかでも上水道事業会計では、DX化並びにスマートメーターの活用による効率的な運営が評価され、「優良地方公営企業総務大臣表彰」を受賞されていた。その他3会計についても、事業収益の改善と向上や他会計補助金の減少等に向け、健全で合理的な経営管理を図れるよう今後もさらなる事務事業の抜本的改善に努められたい。

決算以外の9月定例会の上程された案件は以下のとおりです。

## 一般会計補正予算

(1万円未満は四捨五入しています。)

1億9,815万円を増額

一般会計総額 178億 276万円に

### 一般会計補正予算の主な内容

●総務費	行政事務電算化事業費	305万円
	(基幹系電算システム標準化による国が指定するクラウドへのバックアップデータ利用料等)	
	防災諸費	355万円
	(防災気象情報のJアラート機器の更新)	
●民生費	保育園費	4,421万円
	(田富第二・田富第三統合保育園建設事業の厨房機器購入や駐車場整備)	
	児童館費	149万円
	(田富中央児童館の再整備等の基礎調査業務委託)	
●商工費	観光費	2,376万円
	(豊富郷土資料館空調設備改修工事)	
●土木費	土木総務費	270万円
	(中央市やまなしKAITEKI住宅普及促進事業)	
	道路橋梁維持事業	5,596万円
	(若宮北交差点から昭和町境までの市道舗装打替え工事)	
●教育費	図書館費	349万円
	(玉穂生涯学習館研修室等のLAN回線及び照明器具のLED化工事)	
	三村小学校施設整備事業	975万円
	(三村小学校低学年棟改修工事設計業務及び学校施設非構造部材調査)	

## 特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計	1,115万円	30億7,853万円
後期高齢者医療特別会計	232万円	5億9,237万円
介護保険特別会計	1,297万円	22億8,563万円
地域包括支援センター特別会計	817万円	1,753万円



## 企業会計の補正予算

	収益的収入および支出			資本的収入および支出		
		補 正 額	総 額		補 正 額	総 額
公共下水道 事 業 会 計	収入	10万円	8億4,466万円	収入	277万円	7億8,358万円
	支出	10万円	8億4,466万円	支出	277万円	9億1,094万円
農 業 集 落 排水事業会計	収入	10万円	2億6,055万円	収入	—	—
	支出	10万円	2億6,055万円	支出	—	—

### 主な条例案件

#### ●地方税法の一部改正に伴い、本市の税条例も一部が改正されます。

○中央市税条例中改正の件

(施行日：令和8年1月1日

(一部) 令和8年4月1日

(一部) 地方税法等の一部を改正する法律附則第1条第12号に掲げる規定の施行の日))

【主な改正内容】・公示送達(※)について、インターネットを用いる方法の定義を示した省令改正に伴い整備するもの。

・控除すべき金額について、特定親族特別控除額を追加するもの。

・特定親族特別控除の創設に伴う、公的年金等受給者の個人住民税申告義務に係る規定や扶養親族等申告書に係る提出義務規定等を整備するもの。

・加熱式たばこに係る市たばこ税の課税標準の特例を設けるもの。

(※)公示送達…住所及び居所不明等により書類が返戻となった場合に、公示事項を市役所の掲示場に一定期間公示することで、書類の送達が行われたものとみなされるもの。

#### ●選挙公営の限度額が引き上げられます。

○中央市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件 (施行日：公布の日)

【主な改正内容】・国会議員の選挙における選挙運動に関し、公費負担の限度額の改定に準じ、市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラ及びポスターの作成の公費負担の限度額を引き上げるもの。

選挙運動用の公費負担	限度額	
	改正前	改正後
ビラ印刷費(1枚当たり)	7円73銭	8円38銭
ポスター作成単価(1枚当たり)	541円31銭	586円88銭

## その他の案件

### ●動産取得の件

- ・取得する動産： ロングパイル人工芝(※) 面積 5,123.7㎡  
ノンサンド人工芝(※) 面積 340.1㎡
- ・取得金額： 49,082,000円
- ・取得の相手方： 所在地 山梨県甲斐市玉川1445番地4  
名称 株式会社 パークプラン工業  
代表者 代表取締役 鷹野 洋一

#### 補 足

この動産の取得は、総合防災公園のサッカー場を人工芝化するため、人工芝を購入するもの。

- ※ロングパイル人工芝…一般的な芝丈が50mm以上の長い葉茎に砂や弾性材を充填することで、天然芝に近い状態を維持できる。
- ※ノンサンド人工芝…砂や弾性材を使用しないことで、粉塵の飛散がなく快適に使用できる。

## 請願審査・意見書の提出

### ●学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

- ・請願者 中央市PTA連絡協議会 会長 小山里津子  
中央市地区公立小中学校長会 会長 薬袋 貴  
中央市地区公立小中学校教頭会 会長 鷹野 浩文  
山梨県教職員組合中巨摩支部 執行委員長 河西 利樹
- ・紹介議員 笹本 昇
- ・要 旨
  - 一.中学校の学級編制基準の引き下げに当たっては、加配定数の振替ではなく、教職員定数の実質的な増員で行うこと。
  - 一.学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員など教職員定数改善を推進すること。
  - 一.教職員の働き方改革はもとより、子どもたちのゆたかな学びの保障のために、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選を行うこと。
  - 一.義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
  - 一.教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

- ・審議結果 採択

**請願審議の結果が採択となったことにより、上記の請願に対し、市議会から国へ意見書を提出しました。**

令和7年9月25日可決

- ・提出議員 志村 勇
- ・賛成議員 福田 清美 山村 一
- ・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣

# 令和7年第3回定例会審議結果

○賛成 ×反対 (金丸 俊明 議長を除く)

種別	案 件 名	副議長	フ　ォ　ー　ラ　ム　中　央										至誠会		公明党	日本共産党	無所属	結 果
		山本六男	田中一臣	井口貢	福田清美	小池章治	斉藤雅浩	笹本昇	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧	山村一	江間政雄	新海一芳	田中輝美	木下友貴	
第3回定例会																		
条例案件	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例中改正の件																	
	税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中央市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件																	可決
令和7年度補正予算	一般会計補正予算（第2号）																	
	一般会計補正予算（第3号）																	
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第1号）																	
	地域包括支援センター特別会計補正予算（第1号）																	
	公共下水道事業会計補正予算（第1号）																	
	農業集落排水事業会計補正予算（第1号）																	
令和6年度決算認定	一般会計歳入歳出決算認定の件																	
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	地域包括支援センター特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	田富よし原処理センター事業特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	簡易水道事業会計決算認定の件																	
	公共下水道事業会計決算認定の件																	
	農業集落排水事業会計決算認定の件																	
	上水道事業会計決算認定の件																	
その他	契約締結の件																	
	変更契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線認定の件																	
	動産取得の件																	
請願	学校の働き方改革・長時間労働は正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	学校の働き方改革・長時間労働は正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



市長の  
行政報告令和7年度中央市総合防災  
訓練

8月31日に実施した防災訓練は「地区別協働防災訓練」と題し、地域の皆さま、市内の小中学校に通う児童生徒や各学校の教職員が一体となり取り組んでいただきました。応急救護や炊き出し、初期消火訓練などの実践的な取り組みに加え、小中学生の皆さんには、「DIG(ディグ)」と呼ばれる手法を用い、自分の住むまちで起こり得る災害を具体的にイメージし、その対応方法や備えについて発表していただきました。災害時

に最も重要なのは、自助と共助の取り組みです。今回のように世代を超えた市民の皆さま

が、訓練を通じて顔の見える関係を築くことで、地域コミュニティの活性化が図られるとともに、一人ひとりの行動力と地域の支え合いが、命と暮らしを守る大きな力となることを、改めて実感する機会となったものと考えております。

## B&amp;G財団との協定締結

7月30日、公益財団法人B&G財団と、山梨県内の自治体初の事例となる、「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制の構築を目的とした協定」を締結しました。本協定に基づき、玉穂支所敷地内に防災倉庫を設置し、油圧ショベルや災害救助艇を配備したほか、この秋にはスライドダンプを配備する予定です。その他、災害時に活用できる資機材も整備をし、資機材を操作するための研修のほか、避難所宿泊体験訓練や、本市の外国籍人口比率の高さを踏まえた外国籍住民向け防災教育な

ど、防災意識の向上を図るソフト事業も実施してきました。整備した資機材は、継続的な研修の実施など必要な措置を講じ、地域の防災体制の一層の充実に努め、災害発生時には、可能な限り機材や人員を派遣し、迅速かつ的確な対応に努めてまいります。

## AIオンデマンド交通について

中央市地域公共交通活性化協議会では、交通弱者の生活支援、交通空白地域の解消、利用者の利便性向上等を目的に、誰もが利用しやすく移動しやすい仕組みづくりを進めるため、令和7年10月1日より新たにAIオンデマンド交通「のーと中央」の実証運行を開始します。スマートフォンのアプリや電話予約で利用できる乗り合いサービスで、市内全域に設置する211箇所の乗降ポイントから、市内の指定した病院、商業施設、公共施設等の目的地まで移動でき、AIを活用して最適な経路を導きだし運行します。実証運行開始にあたり、8月に実証運行説明会を開催し、9月には、具体的な予約方法やアプリの使い方

明会等、各回の午後には対面個別のサポートを実施します。今後により丁寧な説明に努めますので、多くの市民の皆さまに、ご利用いただきたいと思います。なお、この実証運行開始に伴い、とまチユウバスは、本年11月末をもって運行を終了します。

明治安田生命保険相互会社  
との包括連携協定の締結

この協定は、健康増進、子育て支援、高齢者福祉、市政情報の発信、環境保全、防災・災害対策など幅広い分野で緊密に連携し、市民の健康増進や市民サービスの向上を目的に、去る7月2日に締結式を執り行いました。今後、地域課題の解決に向け、健康増進に関するイベント等でのブース出展や、自治会等へ出前健康講座などの実施や、市の行政サービス案内活動として、同社の営業活動における健康相談等で、本市の住民サービスメニューの情報提供を行っていたなど、の予定をしております。



**Q**

**農業後継者を増やすための、市独自支援策について**  
新規就農者向けの研修や環境保全型農業などの取り組みを推進し、その対策を検討し、推進する

江間 政雄 議員

**問：**農業後継者が増え、育っていけるための、市独自支援策の考えについて。

**答：**国や県の補助制度等を活用した新規就農者の確保や育成、労働環境の改善、機械・施設の整備等の支援など様々な対策を講じている。今後も、これらの活用について積極的な周知に努め、さらに、長期総合計画における「就農への支援」に対する施策の方向性として、本市独自の農業者支援対策を検討し、新規就農者向けの研修や環境保全型農業などの取り組みを推進し、農業関連団体と連携を図りながら、その対策を検討し、推進することにより、農業後継者の増加及びその育成に繋げていく。農業は本市の基幹産業であり、

幅広い年齢層を対象とし、推進することにより、本市の農業の活性化に繋げたい。

**問：**通学路の安全確保について。

**答：**市教育委員会では、毎年度、市PTA連絡協議会が取りまとめた、各学校PTAによる通学路の危険箇所への改善要望書を受理し、市の関係部署へその対応を要請し、その対応結果等は、市PTA連絡協議会に報告している。また、中央市通学路安全推進会議による「通学路合同安全点検」を隔年で実施しており、これは本年度に実施する予定で、改善要望箇所などを合同で確認し、各関係部署で必要な対策を講じてもらうこととしている。



**Q**

**市内の雑草管理について**  
JA営農指導員や農薬販売店等の指導を受ける中で、適正使用における除草剤を散布する

内藤 巧 議員

**問：**市内の雑草管理について、学校施設やグラウンドの現状を把握しているか。

**答：**三村小学校では、本年の猛暑等により、グラウンドの雑草が運動スペースの周辺に異常に繁茂しており、学校閉庁日に合わせて農薬使用に関して知見を有するJA営農指導員や農薬販売店等の指導を受ける中で、適正使用における除草剤を散布したところであり、遊具施設や植樹がある緑地帯は、学校関係者による草刈り等を常に合間を見ながら行っている。豊富小学校では、三村小学校と同様に学校閉庁日に合わせてグラウンドへの適正使用における除草剤の散布を行い、その他学校周辺は、PTA及び学校関係者等による愛校作業により草刈り等を行っている。

**問：**防災公園の芝生広場の再開の目処はいつ頃か。

**答：**令和8年度以降の貸し出し開始を目指して、現在、芝生の補修作業と養生作業を行っている。

**問：**芝生広場の今後の管理をどのようにするのか。

**答：**今までに開放した芝生広場の芝の破損状況等鑑みる中で、同じような運用では利用者の皆さまにご迷惑をおかけすることになるので、令和8年度以降の利用条件等貸し出し基準や規定等の見直しを考えている。今後も、市民の皆さまが安心して楽しんでいただける施設が提供できるよう管理を徹底していきたい。

【関連質問】

中沢美恵 議員

田中輝美 議員



## 市内の社会体育施設の現状について

老朽化等が進んでいる施設は、今後、機能集約を進め、存続施設の改修と廃止施設の解体等を計画的に進める

有泉 誠議員

**問：**体育施設の夜間照明LED化の計画について。

**答：**現在市内の11か所ある照明付き社会体育施設のうち、田富

北小学校グラウンドは、令和6年度に整備が完了し、玉穂ふるさとふれあい広場及び農村広場は、本年度中に整備後、速やかに供用開始し、その他施設も利用頻度、劣化状態等勘案する中で計画的に整備を行う。

**問：**体育施設の使用料設定基準について。

**答：**本市では、対象種別の面積を基準として、施設の維持管理費や減価償却費などを考慮して算出し、これを市内の類似施設及び近隣市町の類似施設等の使用料（案）を、庁内で設置している公の施設等検討委員会に諮

り、最終的に庁議において使用料（案）が決定される。

**問：**田富北小学校の体育施設としての開放について。

**答：**移転した田富北小学校グラウンドは、今までであった施設を原状回復した学校教育施設となっており、移転前のグラウンドに整備されていた器具が、移転後整備されていないことから、安全性等を考慮する中で、利用できない状況となっている。なお、安全に利用できる体育種目については、今後開放していく。

### 【関連質問】

内藤 巧 議員  
田中輝美 議員



## 本市の命水のPR及び給水スポットの設置は

課題について、各施設への設置やPRの効果など施設所管課と協議、研究していく

田中 輝美議員

**問：**クーリングシエルターとして開放している施設12か所のうち、冷水機を設置している施設の数。

**答：**無料で利用できる施設が4か所、冷水機ではないがピッチャーで給水できる施設が1か所ある。

**問：**給水スポットの設置は、プラスチック削減に通じると考えるが、ゴミ削減の観点からの市の所見は。

**答：**環境省の分析結果によると、マイボトルによりCO<sub>2</sub>の削減効果が期待できる結果となっている。

さらに、マイボトルの使用によりペットボトルの利用が削減されれば、その分、ごみの削減にもつながるものと考え、まずは、給水スポットの設置の有無にかかわらず、マイボトル運動を推進していく。

**問：**給水スポット設置による本市の命水のPR及び、公共施設への

給水スポット設置について。

**答：**本市の命水は、災害時の備蓄、水道事業のPRのためにボトルウォーターとして平成24年から製造販売を開始し、現在、道の駅とよとみ、シルクふれんどりい、たから、近年ではYSK ecom シルクパークでも販売しており、販売やPRのため、看板を製作し設置している。公共施設への給水スポットの設置は、熱中症対策やSDGs推進、また、本市の水環境を広くPRすることが期待できると考える。一方で、給水スポットの設置は、給排水管の配管コストもかかるため、その有効性や効果は精査が必要で、まず課題について研究し、各施設への設置やPRの効果など施設所管課と協議、研究していく。





**リチウムイオン電池の廃棄について**  
準備が整い次第、市民の皆さまに周知徹底を図るとともに、引き続き、適正な廃棄処理に努めていく

木下 友貴 議員

**問：**リチウムイオン電池がどのような製品に使用されているか、住民に分かりやすく周知すべきでは。

**答：**国では、本年3月に「市区町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策集」を発表した。これを受け、市ではリチウムイオン電池の廃棄方法の見直しを行っており、併せて、リチウム電池の廃棄方法に特化したチラシなどを広報やホームページなどで周知していく。

**問：**膨脹・変形した電池の回収、小型家電リサイクルの電池が外せないものの対応は。

**答：**膨脹・変形した電池の回収は耐火性の容器を用意して対応していく。小型家電リサイクルの電池が外せないものについては、直

接環境担当窓口にお持ちいただき引き取ることとする。いずれも準備が整い次第、市民の皆さまに周知徹底を図るとともに、引き続き、適正な廃棄処理に努めていく。

**問：**国保税滞納者への現在の対応は。

**答：**国保税滞納者への対応は、納期限を20日過ぎても納付確認ができない場合には督促状を送付し、さらに、滞納整理強化月間前には現年度1期～3期の未納者に催告書を送付し納税を促している。国保税の納期限から1年間を経過するまでに納付相談等がなく、納付がない世帯には、特別療養費の適用対象となるが、まずは、国保税滞納世帯主に対し、弁明の機会の付与通知書により弁明書の提出を求めている。

## 中央市市制施行20周年 記念懸垂幕が掲げられました

9月3日、中央市市制20周年を迎える記念として、市役所南館前にて懸垂幕掲揚式が行われ、全議員が出席しました。

また、市出身でふるさと大使を務めるマカロニえんぴつのはっとりさんが作詞・作曲された「青春と一瞬」をアレンジした、オリジナルのチャイム音源も発表されました。



## 表紙の写真を 大募集!!

議会だよりでは、皆さまから表紙の写真を募集しています!

今年度のテーマは、  
市制施行20周年にちなみ「20」です。  
あなたにとっての20にまつわる写真を  
募集します。  
奮ってご応募ください。

(表紙に採用された方には報償品を贈呈します)



※詳細はホームページ

[https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai\\_info/13325.html](https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/13325.html)

をご覧ください。事務局(055-274-8516)まで  
お気軽にお問い合わせください。

## 総務教育常任委員会

## 審査ポイント

## ふるさと納税の今後の対応策は

## ◎一般会計補正予算（第2号）

## 〈未来戦略部 政策秘書課〉

**問：**ふるさと納税額が令和5年度と比較し減少している。財政的にも大変厳しくなっているが、ふるさと納税の担当課を設けて専属職員を配置したかどうか。

**答：**令和7年度から中間管理事業者を改めて寄附額の増加を目指している。職員の配置は、既にはぼ専属で1名の職員がふるさと納税業務に特化し営業活動を行っている。なお、専属部署の設定は、人件費やPR費等を含む経費の5割ルールに抵触する可能性があり、運営上慎重に検討する必要がある。

## ◎一般会計歳入歳出決算認定の件

## 〈総務部 危機管理課〉

**問：**レンタル予定のIP無線機とは何か。レンタルの期間は。

**答：**LTE回線や携帯電話回線を使い、災害時でも通信が滞りなく交信できる無線機のことです。

レンタル料を毎年支払う予定。

**問：**自衛官募集相談員年会費について、これまで自衛官に応募した人はいるか。

**答：**入隊する方へ中央市が激励会を開いている。この激励会に参加した方は令和6年度に2名、令和5年度は1名、令和4年度は0名であった。

## 〈未来戦略部 企画課〉

**問：**デマンド交通の運賃500円について、協議の内容は。

**答：**地域公共交通のアクセス改善を目指した公共交通計画を策定するため、令和4年度に市民を対象としたアンケート調査を実施した。アンケートでは、公共交通の空白地帯に関する課題があり「既存路線の利便性が低い」「500円程度であれば利用したい」等の意見が多数あった。令和6年度では、実施方法のより具体的な審議を行い、公共交通の空白地帯を解消するため、まずは令和7年10月より実証運

行を行う方針となった。なお運賃はアンケート結果に基づく料金設定であり、今後は割引制度等を含めた本格運行に向け、再度アンケート調査を行う。



AI デマンド交通「のーと中央」で使用する車両

## 〈教育委員会 教育総務課〉

**問：**田富小学校の長寿命化改修工事の現在の状況は。

**答：**外観は検査を終えて足場が解体され、周りから確認できる状況になっている。内部も床や備え付けの家具が入り、10月末までの完成予定で進んでいる。先生方に教室等を確認していたが、残念ながら、移転に向けて準備が進んでいる。

**問：**学校給食費の滞納に対する今後の対応方法は。

**答：**給食費は無償化が続いているため、滞納は現年度分ではなく平成29年度以前分である。既に学校を卒業された児童生徒の保護者に法的措置を強調した催告書等や色を変えた封筒での送付、臨戸訪問や電話催告を行っている。これらにより完納や分納誓約を結び、前年度を上回る納入があった。引き続き効果が出る取り組みを行っていききたい。

## 〈教育委員会 生涯教育課〉

**問：**旧豊富郷土資料館が経年劣化により外壁や塗装が剥がれている。文化財保護の観点から今後の維持管理は。

**答：**旧豊富郷土資料館には過去の資料等が保管されており、その移設場所を検討している。また、文化財として貴重でもあるため、以前にこの施設を専門家へ調査の依頼をした際、放置された現状では価値がなく、復元には相当な経費が必要と判明したことで、ある1団体が利活用を手を挙げていたが、結果的に頓挫した経過がある。現在も募集はしているが、時期を見極めて検討したい。



厚生常任委員会

審査ポイント

田富中央児童館の再整備の詳細は

◎一般会計補正予算（第2号）

＜こども健康部子育て支援課＞

問：田富中央児童館の再整備に係る基礎調査業務の詳細は。

答：現在の田富中央児童館は、田富総合会館内で学童保育を中心に約110人のお子さんをお預かりしている。再整備を学校の近くと考えているが、田富小学校の関連整備事業との兼ね合いや田富総合会館の将来的な解体、周辺一帯等を含め検討していく。



田富中央児童館

◎一般会計歳入歳出決算認定の件

＜福祉部 長寿推進課＞

問：敬老祝金を支給した実際の人数は88歳が148人、満100歳が5人となっている。今回、記念品が37組、記念写真が14組というのは、市全体から見ても多いのか少ないのか。

答：敬老祝金は市から対象者に通知を送り、申請があった方に対して支給を行っている。

＜こども健康部子育て支援課＞

問：保育料が無償化になり、令和6年度決算が皆減になっている保育園が多いなか、田富北保育園だけが38万7,700円の決算額となっている理由は。

答：市独自の保育園料無償化は、中央市に住民票がある方のみが対象だが、市外から田富北保育園に通園されている子どもが1名おり、無償化の対象にはならないので保育料をいただいている。

問：田富北保育園の広域保育受託分負担金が他の園と比べて多

い理由は。

答：広域保育受託分負担金は保育料ではなく、市外の子どもを中央市の公立保育所でお預かりしたときの運営費負担金である。年齢により負担金には差があるが、年齢が上がるほど安くなり、田富北保育園では小さな子どもをお預かりしていることから、高くなっている。

＜こども健康部 健康増進課＞

問：がん患者アピランスケア支援事業補助金の決算額とその内容は。

答：9件の申請で18万円である。内容はウィッグや乳房の補正下着が対象となる。ウィッグや乳房の補正下着は補助上限2万円、人工乳房は補助上限10万円となる。

問：出産・子育て応援交付金の制度の内容は。

答：令和6年度までは、妊娠届出時の面談後、出産後の面談後にそれぞれ5万円を交付していた。令和7年度からは制度改正があり、流産や人工中絶に至った方にも交付している。

問：救急医療品期限経過等の廃棄処分料とは何か。

答：災害に備え必要な備品の医

療機器や薬品を保管しており、使用期限経過により廃棄する処分料となる。

問：医療機器や薬品の再利用は。

答：廃棄せずに済むよう考えていきたいが、安全面等、すぐに医療機関に渡せるかという難しい課題がある。

◎後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算認定の件

＜市民部 保険課＞

問：特定健康診査等事業での特定保健指導における、動機付け支援と積極的支援とは何か。

答：動機付け支援とは、特定検診後に腹囲が男性で85センチ以上、女性で90センチ以上の者のうち、脂質・血圧・血糖のうち1項目が基準値を上回った者に対して、該当項目を改善する指導で、初回面接時に目標を立てて3か月後に評価を行っている。一方、積極的支援とは、腹囲の判定は同じで、2～3項目に該当する者に対して初回面接時に目標を立て、1か月ごとに情報確認を行い、最長で3か月、最長6か月後で評価を行っている。



## 産業土木常任委員会

## 審査ポイント

やまなしKAI-TEKI  
住宅の詳細は

## ◎一般会計補正予算（第2号）

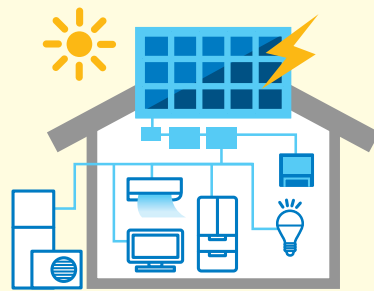
## 〈産業建設部建設課〉

問：やまなしKAI-TEKI住宅普及促進事業の補助の対象は。

答：KAI-TEKI住宅基準を満たしているとして県から認定された新築またはリフォーム住宅の世帯に対し、市が一定額の補助金を交付するものである。

なお、着工した年度において、18歳未満の子どもがいる世帯、または夫婦のどちらかが39歳以下の世帯の場合には、子育て世帯等として補助金の加算対象となる。また、補助の対象となる期間は、令和7年4月1日以降に着工した住宅で、現時点ですでに着工した住宅があれば対象になる。

ただし、この事業が周知されたあとの着工の場合、年度内の完成が難しいこともあるので、来年度以降も継続したいと考えている。県は3年間の事業期間を想定しており、市もそのようにしたい。



※やまなしKAI-TEKI住宅普及促進事業：官民が連携して良質な住宅の普及を図ることを目的に、達成した基準に応じて一定額の補助金が交付される。詳細は建設課にお問い合わせください。

（建設課055-274-8553）

## ◎一般会計歳入歳出決算認定の件

## 〈産業建設部建設課〉

問：公営住宅使用料の多額の収入未済額の対策と、保証人の見直しは。

答：職員が臨戸訪問し粘り強く交渉しているが、有効な対策が

講じられていない現状である。保証人の見直しについても検討しているが、具体的な実行に移せていない。

問：公営住宅の建て替えに伴う民間資金活用調査について、その調査結果は。

答：令和6年度に市の公営住宅長寿命化計画に沿う事業を進めるにあたり、PFI等の手法を取り入れた場合、金銭的や事務負担軽減等の利点があるか調査した結果、いずれも利点がある報告を受けている。これを受け、どの事業で行っていくのか、今後庁内で議論を行い進めていく。

## 〈産業建設部まちづくり推進課〉

問：まちづくりアクションプランの策定の状況と今後の方向性は。

答：まちづくりアクションプランを令和6年4月に策定する直前に、JR東海はリニア中央新幹線の開通の時期を2034年以降に予定していると発表した。

これによりアクションプランの計画に影響を及ぼす可能性があることから、リニア中央新幹線の山梨県駅南側にどのような施設が整備されるかは、未定とな

っている。まちづくり推進課では、山梨県および甲府市と協議しながら調整を進めていく。

## ◎農業集落排水事業会計決算認定の件

## 〈産業建設部上下水道課〉

問：1袋210円で販売している」とよみクリーンの経費は。

答：年間の経費が1,369万円ほどで1,000袋作っている。1袋あたり1万3,690円の経費となる。

## ◎変更契約締結の件

## 〈産業建設部上下水道課〉

問：浅利川東部地区処理施設備改修工事の契約金額が減った理由は。

答：足場工を施工するにあたり、請負者から工期の縮減と費用の縮減ができるという新たな技術提案があり、上下水道課で協議・検討した結果、安全性の問題がなく、工期の短縮や経費の縮減が図れるため変更とした。

## 総務教育常任委員会



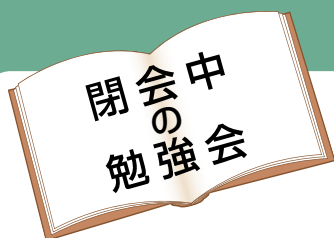
- ◆日 時 令和7年7月1日
- ◆テーマ タブレット端末による授業の状況について

総務教育常任委員会では、「タブレット端末による授業の状況について」をテーマに、玉穂中学校へ視察を行いました。

視察では玉穂中学校の校長より、玉穂中学校及び中央市のICTに関する現状と課題について説明を受けたあと、実際の教室で授業の様子を見学しました。授業では、一人ひとりの生徒がタブレット端末を操作し、黒板の近くに設置されている大型モニターを通じてクラス全員の回答や考えが共有でき、教師は各生徒の理解度によりフォローをしたり、生徒同士においても協働的な学びを深めたりすることのできる、より能動的な授業が行われていました。



## 厚生常任委員会



- ◆日 時 令和7年7月30日
- ◆テーマ 田富北保育園の現状について  
重層的支援体制整備事業について

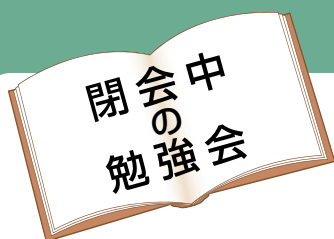
厚生常任委員会では、2つのテーマで勉強会を行いました。

田富北保育園では、人口減少や少子高齢化、施設の老朽化、財政状況等を鑑み、統合を予定している田富第一保育園の施設長寿命化に向けた改修の必要性和統合準備への再編計画について、情報を共有しました。委員からは、統合後に閉園となる田富北保育園の施設の利活用や保護者への説明状況等の質問がありました。

重層的支援体制整備事業については、社会の変化や複雑化した生活課題等の現状から、複数の事業を包括的な支援体制による重層的セーフティネットの構築を目指しており、相談を待たずに行政から積極的なアプローチを行っていく取り組みと支援体制整備後の対応実例の説明を受けました。



## 産業土木常任委員会



- ◆日 時 令和7年7月30日
- ◆テーマ 関原浄水場について、リバーサイド配水場について  
公共下水道の区域外流入について

産業土木常任委員会では、3つのテーマで勉強会を実施しました。

昨今の水需要の増加による配水容量の低下、また整備等の老朽化への懸念から、より多くの水源を安全に確保するために、新たな関原浄水場とリバーサイド配水場の建設事業計画について、現地視察をしながら、規模・構造や設計上の対策や事業費等の概要説明を受けました。

公共下水道の区域外流入については、区域外地域との協議状況や協定書（案）について説明を受け、委員から協定書（案）の見直しや今後の計画、懸案事項等の多くの質問や意見がでました。



## 市民の談話室



下成島自治会  
ささかわ はるき  
笹川 陽生 さん

## 目標に向かって

僕は小学3年生からサッカーを始めました。そして4年生になる頃にはゴールキーパーをするようになりました。始めの頃は簡単なシュートも止めることができず、先輩や同じ学年のみんなに迷惑をかけていました。それでも、練習するうちに段々シュートを止められるようになりました。

今、僕が1番苦労しているのは、ロングキックです。ゴールキーパーが長いパスを蹴られなければ試合が難しくなります。同じチームの先輩たちからアドバイスをもらったり、同じ学年の同じ課題を持つ仲間と、どうしたら蹴られるようになるか研究したりしながら、ロングキックの練習を頑張っています。まだまだ上手く蹴られないですが絶対蹴られるようにすると決めて、日々練習に取り組んでいます。

僕はこのチームの仲間と一緒に頑張って、技術を高めて行きたいと考えています。そして、みんなで上手くなって、リーグ戦で上位に入りたいと思っています。

そのためにコーチの力を借りながら、チームのみんなと練習を頑張っています。一人だと挫けそうになりそうなことでも、チームの仲間と頑張れば、頑張れそうな気がします。そして、みんなが僕の目標のリーグ戦上位を達成したいです。



リバーサイド第2自治会長  
ほそかわ ますいちろう  
細川 益一郎 さん

## 高齢化の進む自治会の絆を深める

ご縁をいただき、自治会長を拝命して10年になります。この10年の間に多くの人に支えられて活動を進めて参りました。高齢化が進む自治会で婦人クラブと有志の協力を得て、高齢者宅へ月2回の訪問活動や、釜無川に隣接する地域で自治会の枠を超えた防災活動、役員・組長さんの力を結集した、住みよい街づくりなどでこの街に住んで良かったと思える「地域の絆づくり」をめざしてきました。今年も猛暑の中多くの皆さんの力を結集して夏まつりを開催し、たくさんの笑顔に触れることができました。

過日行われた総合防災訓練では、中学生の皆さんが私たちの地域の災害リスクを参加住民に解説し、避難訓練行動を実演してくれました。小学校・中学校と連携した訓練に、参加した自主防災会の皆さんも大きな力を感じとることができました。高齢化が進む私たちの地域の若い力に勇気と大きな希望を感じた防災訓練になりました。これからも私たちの絆と力を結集して、笑顔で明るい地域づくりをめざします。

## 編集後記

時の流れは早いもので、旧3町村が合併し中央市が誕生してから、令和8年2月に20年を迎えようとしています。また、中央市議会も同じくして20年を迎えます。

議会広報編集委員会では、これまでに議長を務められた3名の元議員の方をお招きし、座談会を開催しました。合併時の創刊号から前回の第78号までの議会だよりを、時代を彩った数々の表紙やページをめくられ、とても懐かしそうに話を弾ませていました。

中央市議会では市民の皆さまとより交流するため、

中央市ふるさとまつりに「よってけし！みんなの議会」を出展します。お楽しみイベントをご用意しておりますので、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

中央市誕生の20周年を皆さまとともに盛り上げていきましょう。

## 議会広報編集委員会

委員長	江間 政雄
副委員長	田中 輝美
委員	内藤 巧 有泉 誠
	志村 勇 木下 友貴

